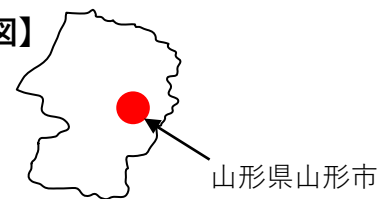


「山形市さくらんぼトレーニングファーム🍒」の整備

山形市では、豊かな自然と寒暖差の大きい気候により、美味しい米・野菜・果樹等がバランスよく生産されている。一方で、生産者の高齢化や後継者不足などにより、年々農業就業人口の減少が進んでおり、市を代表する果樹である「さくらんぼ」についても次世代の担い手の育成・確保は喫緊の課題となっている。そのため、「山形市さくらんぼトレーニングファーム」を設置し、実践的な栽培研修や就農支援を通じて、農業生産基盤の維持・拡充に向けた取組を行っている。

【位置図】



山形県山形市

取組前

- 高所作業が多く、生産者の高齢化による廃業の増加
- 気候変動からの凍霜害及び高温障害等の多発による不作年の増加
- 栽培が難しく、新規参入が難しい作物であり、次代の生産者の減少、廃園の増加による生産基盤の弱体化



(収穫作業中の農家)

取組内容

- 間口8m×長さ50m 3連棟の研修用さくらんぼ用雨除けハウス(省力樹形用)整備
- 農業灌水用井戸整備
- ベテラン生産者が蓄積してきた技術の継承
- 労働力の省力化、気候変動に対応するための技術習得
- 地域と連携したフォローアップ体制



(研修用雨除けハウス)

取組後(成果)

- 「さくらんぼ」栽培を中心とした新規就農者の増加
- 気候変動に対応したさくらんぼ栽培方法の確立
- 樹園地円滑継承の確立

< 新規就農者数 >

- 過去3年平均(R4～R6)26人 → R7:29人
- R10より第一期研修生の就農開始予定



(山形市のさくらんぼ)

【誘致体制】

- ◎山形市（整備主体）
- ◎山形市新規就農者受入協議会（研修運営主体）
- ※新規就農者受入協議会構成員：
 - 山形市・山形県・J A・農業委員会・農業者代表・農業を営む法人代表等
- ◎東北農林専門職大学や東北農林専門職大学附属農林大学校とも連携

研修生の声

- 「さくらんぼ」は山形市を代表する農産物のひとつであり、高いブランド力が魅力。生産に携わりたいと思い、トレーニングファームでの研修を決めた。
- 行政や地域が連携してサポートいただけると聞き、心強く感じている。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】山形市農林部農政課

TEL：023(641)-1212 内線436

E-mail：nousei@city.Yamagata-Yamagata.lg.jp